

タカヤマ★タカラヤマ 11月号

11~12月の行事・イベントなど

11月10日(火)	「子どもを守るネットワーク」パトロール
11月15日(日)	幼・小・中 合同文化祭
12月1日(火)	「子どもを守るネットワーク」パトロール
12月7日(月)	いきいき健康教室
12月21日(月)	

高島地域センターだより No.38
 発行日：令和2年11月1日(日)
 編集：高島地域センター
 〒851-1315 長崎市高島町1728 番地1
 電話／095-896-3110 (代表)

高島地域センター管内の人口
 (令和2年9月末現在)
 ■人口 344人(R元. 9月末367人)
 【男167人、女177人】
 ■世帯数 232世帯

今年も見どころいっぱい！ 幼・小・中合同文化祭

お問合せ
 高島小・中学校
 ☎896-3018

- 日時：11月15日(日)
9時50分～12時00分(予定)
- 場所：高島ふれあいセンター
ホール及びホワイエ
- 内容：【作品展示】絵画、工作、習字など
【ステージ】演劇、姫大蛇、高島太鼓など



写真は昨年の幼・小・中合同文化祭の様子

※ ご来場の際には、検温や手指消毒の徹底、マスク着用、観客席では間隔をあけて着席、3密を避けるなど、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。

今年の高島地区文化祭は中止します

今年度の高島地区文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することになりました。毎年楽しみにして下さっていた皆さまには、大変残念なお知らせとなりますが、ご理解くださるようお願いいたします。

※ 【作品展示】も行いませんので、今年度は作品の募集は行っておりません。

高島観光ナビでは、日々の新鮮情報を掲載しています。
 右のQRコードからアクセスして、スマートフォンやタブレットからもご覧になれますので、ぜひご利用ください。



島内放送を聞き逃しても大丈夫 放送した内容をすぐに防災メールでお届けします

お問合せ
防災危機管理室
☎822-0480

【登録方法】

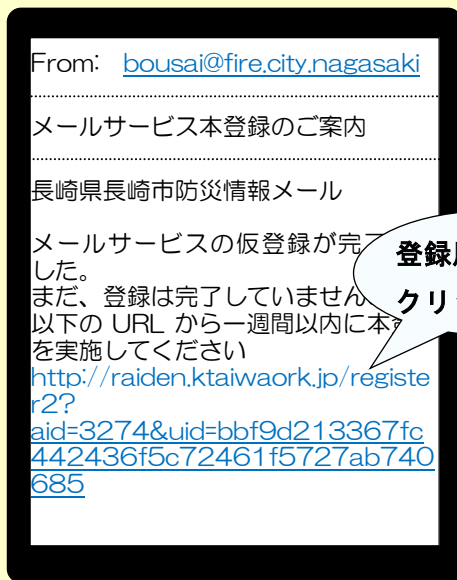
① 携帯電話やパソコンから

『bousai.nagasaki-city@raidenn.ktaiwork.jp』に
空メールを送る。(スマートフォンの場合は、右のQRコードもご利用ください。)

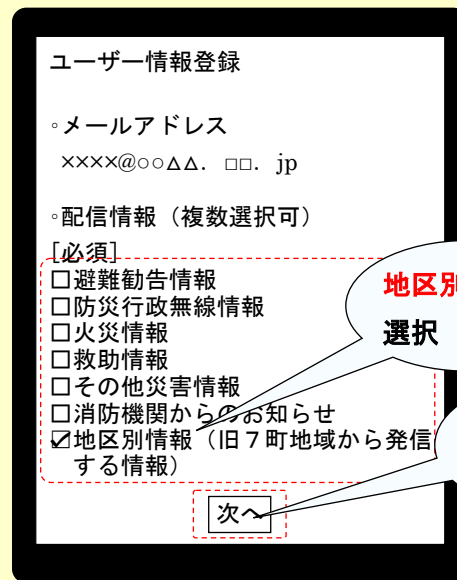


〔すでに防災メールを登録している場合は、受信しているメール下部のURLをクリックし、
「登録情報の変更」のボタンをクリックすると、③の画面に進みます。〕

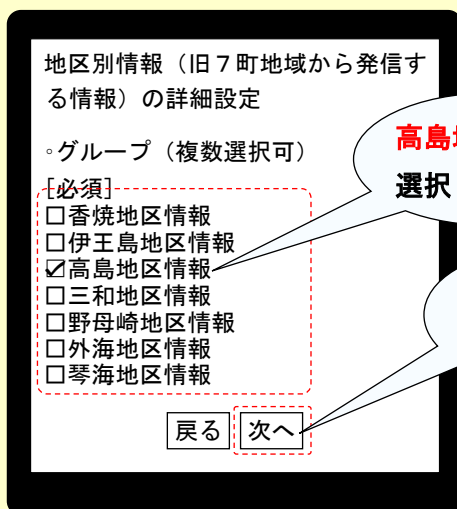
② 確認用メールが届くので、URLをクリックして、登録用ホームページに接続する。



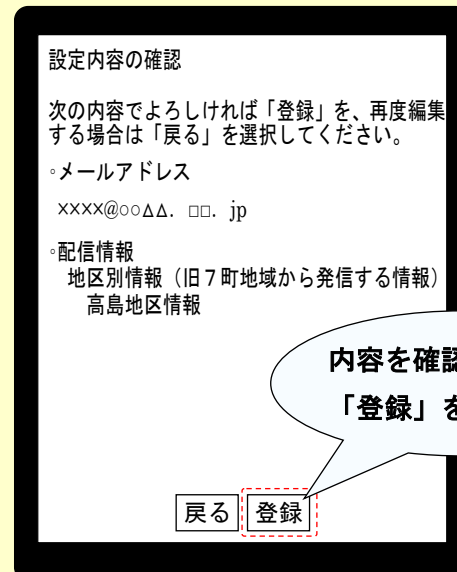
③ 地区別情報にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリック。



④ 高島地区情報にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリック。



⑤ 設定内容を確認して、よろしければ、「登録」ボタンをクリックして、登録完了。



※迷惑メール防止フィルタやドメイン受信制限をされている場合は、
『bousai@fire.city.nagasaki.nagasaki.jp』を受信できるよう設定をお願いします。

自分に合った健康づくりのために 「いきいき健康教室」に参加しませんか

お問合せ

南総合事務所 健康支援係

☎892-1113

1. 日 時：12月7日（月）・21日（月） 13時00分～15時00分
2. 場 所：高島ふれあいセンター ホール
3. 内 容：座ってできる運動、ストレッチ、スクエアステップなど
※ 足腰が痛いかたでも安心してご参加いただけます。
4. 持ってくるもの
飲み物、タオル、健康チェック表（後日郵送します）



- ※ 動きやすい服装と運動靴、マスクを着用してお越しください。
- ※ 事前の検温、手指消毒など、新型コロナ感染拡大防止にもご協力をお願いします。

何か運動を始めたいけど、なかなかきっかけが見つからない、どんな運動をすればいいのかわからない……。といったかたにおすすめの教室です。参加費は無料。20歳以上の長崎市民のかたならどなたでも参加できます。

インフルエンザが流行し始める季節です 今年も予防接種をお忘れなく

予防接種の予約・お問合せ

高島診療所

☎896-2048

高島診療所では、インフルエンザの予防接種を行っています。
まだ予防接種を受けていないかたは、事前に高島診療所へ電話予約のうえ、お早めに予防接種を受けるようお願いします。



今年は、新型コロナとインフルエンザが同時に流行する可能性があります。
手洗い、うがい、マスク着用、3密を避けるなど、日頃からの予防もお願いします。

高島地域センターだよりでは、高島地区のニュースやお知らせを募集しています。
島内に広くお知らせしたいことがございましたら、ぜひ高島地域センターへお寄せください。

高島フォトダイアリー

サンゴは高島町の貴重な資源です。
専門家がこっそり教えるサンゴと海のおはなし

10月3日（土）、高島ふれあいセンターで、やっつろうde高島主催による「専門家がこっそり教えるサンゴと海のおはなし」が開催されました。

講師を務めたのは、昨年9月にも高島町を訪れ、高島海水浴場に生息するサンゴについてわかりやすく講演して下さった宮崎大学の深見 裕伸 教授。

今回の講演では、高島の海に生息するサンゴの種類や生態のほか、絶滅が危惧されている「エダミドリイシ」という種類のサンゴが高島には比較的豊富に生息していること、主に高島診療所前の海で11種類のサンゴが新たに確認されたことなどがわかりやすく説明されました。





また会えたね！「まもるンダ」 高島幼稚園 交通安全教室

10月21日（水）、高島幼稚園で交通安全教室が開かれました。今回の教室は、6月に開かれた交通安全教室に続くものです。

はじめに、チャイルドシートが子どもたちの命を守るのに大変有効であることを学びました。園児たちと一緒に参加した保護者の皆さんも真剣な表情で聞いていました。

次に、長崎市役所の交通安全キャラクター「まもるンダ」が登場する楽しいお話で交通標識や交通ルールを勉強しました。お話の最後に大きな「まもるンダ」が現れると、「また会えたね！」と園児たちは大喜び。

教室の最後には、園児たちからお礼として、講師と「まもるンダ」に、5月から大事に育てていたアサガオの種と、手作りのメロンがプレゼントされました。



カエルのことをたくさん勉強しました。 高島幼稚園 カエル教室

10月27日（火）、高島幼稚園に「カエル先生」がやってきました。

「カエル先生」こと松尾 公則（たかのり）先生（長崎女子短大教授）は、カエルの研究を長年続けていて、高島幼稚園の園児たちにもカエルのことをたくさん知ってもらおうと、教室を開いてくださいました。



この日は、卵からかえったオタマジャクシがカエルになるまでの話や、カエルが鳴くのはオスがメスに求愛するときであること、日本国内では約50種、長崎県内には13種類のカエルが生息していることなどが、分かりやすい映像や紙芝居などを使って、たくさん紹介されました。

最後に、先生が連れて来たヒキガエルやアマガエルたちが登場すると、園児たちは大興奮。ヒキガエルがエサを食べる様子を観察したり、カエルたちに実際に触ってみたりと、カエルたちとのふれあいを楽しんでいました。

「高島地域センターだより」が、インターネットからもご覧になれることをご存じでしょうか。パソコンやスマートフォン、タブレットで、長崎市役所のホームページ上から「高島地域センターだより」で検索してください。

インターネットでは、平成28年4月号からこれまでに発行した過去の「高島行政センターだより」・「高島地域センターだより」も公開しております。ぜひチェックしてみてください。

高島幼稚園のカエル教室を取材したときのこと。実物のヒキガエルやアマガエルを見たときに思ったのが、「最近、身近にカエルを見かけなくなった」ということ。高島の子どもたちには、たくさん自然に親しんで大きくなってほしいと思います。（たみ）